

まちの 家計簿

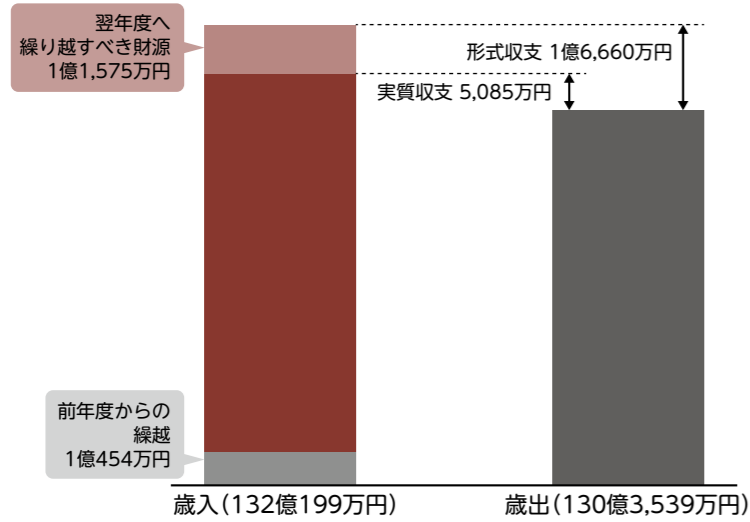
平成28年度
決算の
あらまし

も く じ

決算のおはなし	1~2
まちの決算状況(一般会計)	3~6
まちの決算状況(特別会計)	7~8
平成28年度に実施した主なまちのしごと	9~13
まちの基金(貯金)と債務(借金)	14
各種指標でみる財政状況	15
統一的な基準による財務書類	16~18



ふるさととは ここ精華町と 誇れるまち



平成 28 年度の精華町の一般会計決算は、歳入 132 億 199 万円、歳出 130 億 3,539 万円で、その差引は 1 億 6,660 万円の黒字となりました。さらに詳しい収支状況について下で見ていきましょう。



○形式収支=歳入決算額-歳出決算額

単純な歳入歳出差引で 1 億 6,660 万円の黒字となりました。

○実質収支=(歳入決算額-歳出決算額) - 翌年度へ繰り越すべき財源

形式収支には年度内に完成に至らなかった工事代金など、翌年度にとっておかなければならないお金(翌年度へ繰り越す財源 1 億 1,575 万円)があり、これを除くと 5,085 万円の黒字となります。

○単年度収支=今年度の実質収支-前年度の実質収支

単年度のみの実質的な収入と支出の差額です。歳入には前年度からの繰越金も含まれています。今年度の実質収支(5,085 万円) から前年度の実質収支(5,853 万円) を引いた金額が今年度だけの純粋な収支で、これを見ると 768 万円の赤字となっています。

○実質単年度収支=単年度収支+財政調整基金積立金+地方債繰上償還額-財政調整基金取崩額

単年度収支に含まれる貯金への積立てや取崩し、地方債の繰上げ償還の黒字・赤字要素を除いたものです。実質単年度収支は 2 億 5,399 万円の赤字となっています。

実質収支を一か月の家計に例えると・・・

来月払いのクレジットカードの引き落としがある場合、その分のお金は来月支払うためにおこななければならないので、その額を差し引いて、今月分の本当の収支をみるための差額のことです。

単年度収支を一か月の家計に例えると・・・

今月の黒字(赤字)額から先月の黒字(赤字)額を引いた今月分の純粋な黒字(赤字)額のことです。

実質単年度収支を一か月の家計に例えると・・・

定期預金への積立てや貯金の取崩し、ローンの繰り上げ返済といった資産の増減による収支は除き、単純に給料と生活費のバランスがとれているかどうかを見るための差額のことです。

決算のおはなし

平成 28 年度精華町の決算(一般会計)

歳入 132億199万円 歳出 130億3,539万円

Q. 決算って何??

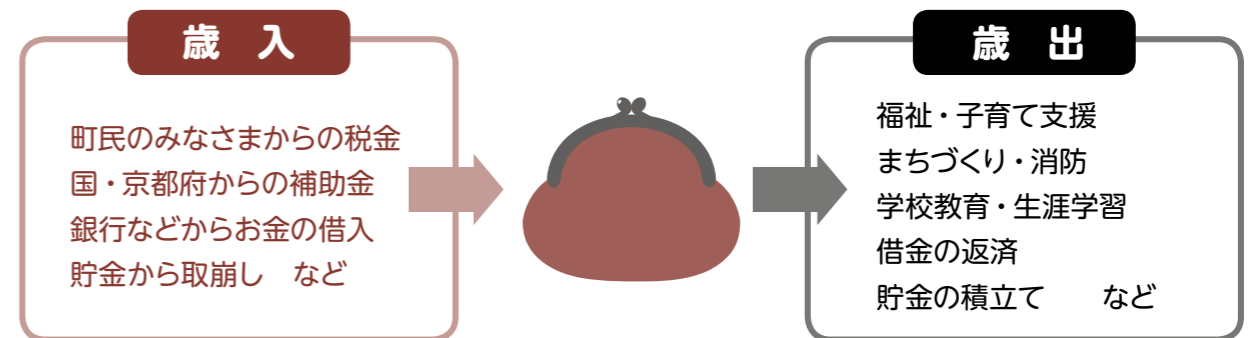
A. 一会計年度(平成 28 年度は、平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)に予算で決められたお金の使い道に沿って、実際にどのようにお金が使われたかを表すものです。

Q. 収入ってどこから入ってくるの??

A. 町民のみなさまから納めていただく税金や国・京都府からの補助金、銀行などから借りたお金、今まで貯めたお金を取り崩したものがあります。なお、地方公共団体の一会計年度内の収入を「歳入」と言います。

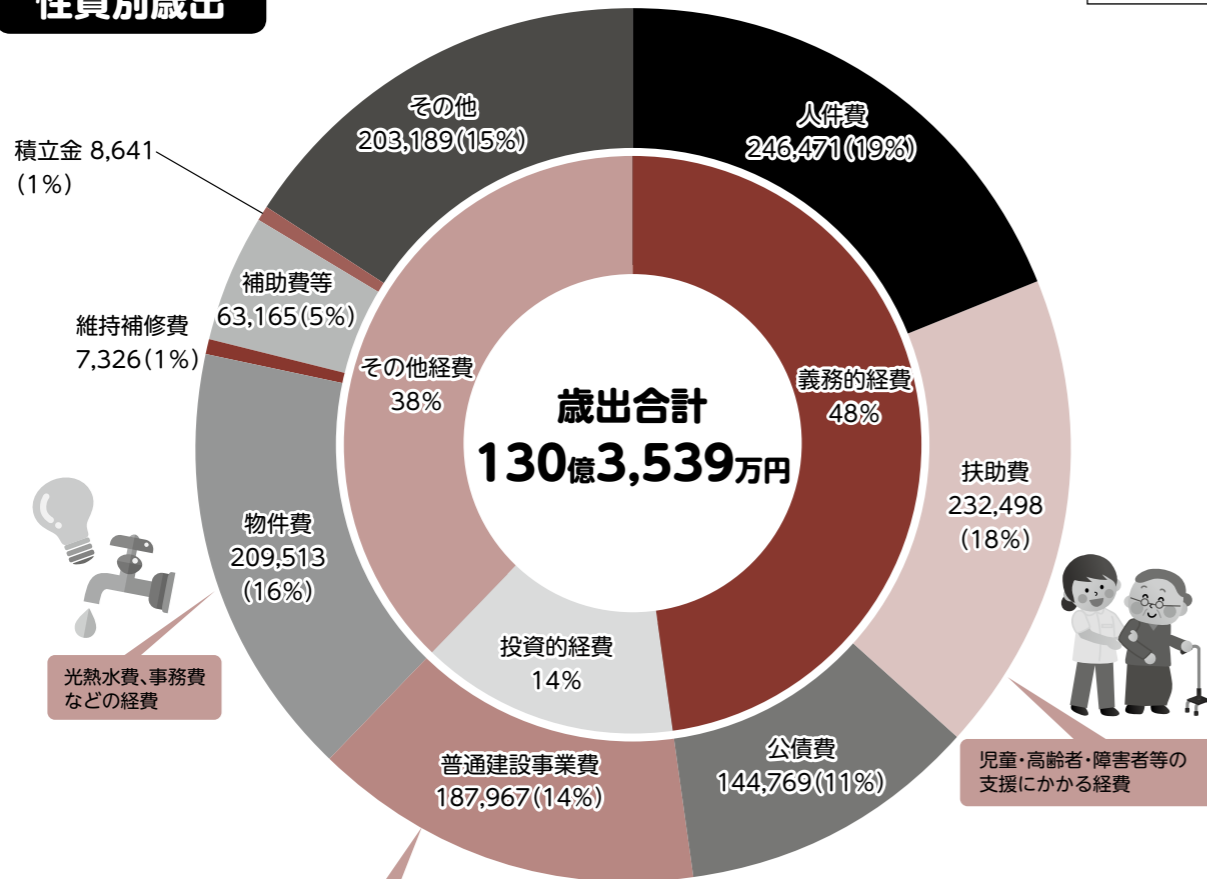
Q. 支出ってどのようなことに使われているの??

A. 精華町では、予算で決められたお金の使い道に沿って、計画的にさまざまな住民サービスにお金を使っています。なお、地方公共団体の一会計年度内の支出を「歳出」と言います。



性質別歳出

単位:万円



※性質別の区分は「義務的経費」「投資的経費」「その他の経費」の3つに区分されます。
義務的経費: 支出が法令などで義務付けられ、任意に縮減できない性質の経費。人件費・扶助費・公債費
投資的経費: 道路、学校、公共施設の建設など社会資本の形成に必要な経費。

<主な内容>

- 扶助費: 自立支援給付事業や障害者、高齢者、母子父子家庭、子どもの医療費助成など。
- 普通建設事業費: 道路の改修工事、狛田駅東特定土地区画整理、かしのき苑ふれあい大ホールの耐震化工事、消防庁舎訓練棟の建設、防災行政無線の実施設計、小中学校エアコン設置の実施設計など。

医療法人 社団 医聖会
学研都市病院
 TEL.0774-98-2123
 整形外科・一般内科・消化器科・循環器科・呼吸器科・外科・小児科・脳神経外科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・皮膚科・放射線科・脊椎・脊髄センター・健診センター・人口透析センター
 診療時間 AM9:00~12:00 ※救急告示病院
 休診日 日・祝日/年末年始(12/31~1/3)

FUJI XEROX
 富士ゼロックスシステムサービスは
 IT化する自治体様を強力サポート。
 さらなる住民サービス向上を目指します。
富士ゼロックスシステムサービス株式会社
 営業本部 公共システム営業事業部 関西支店
 TEL 06-6225-0390 9:00-17:30

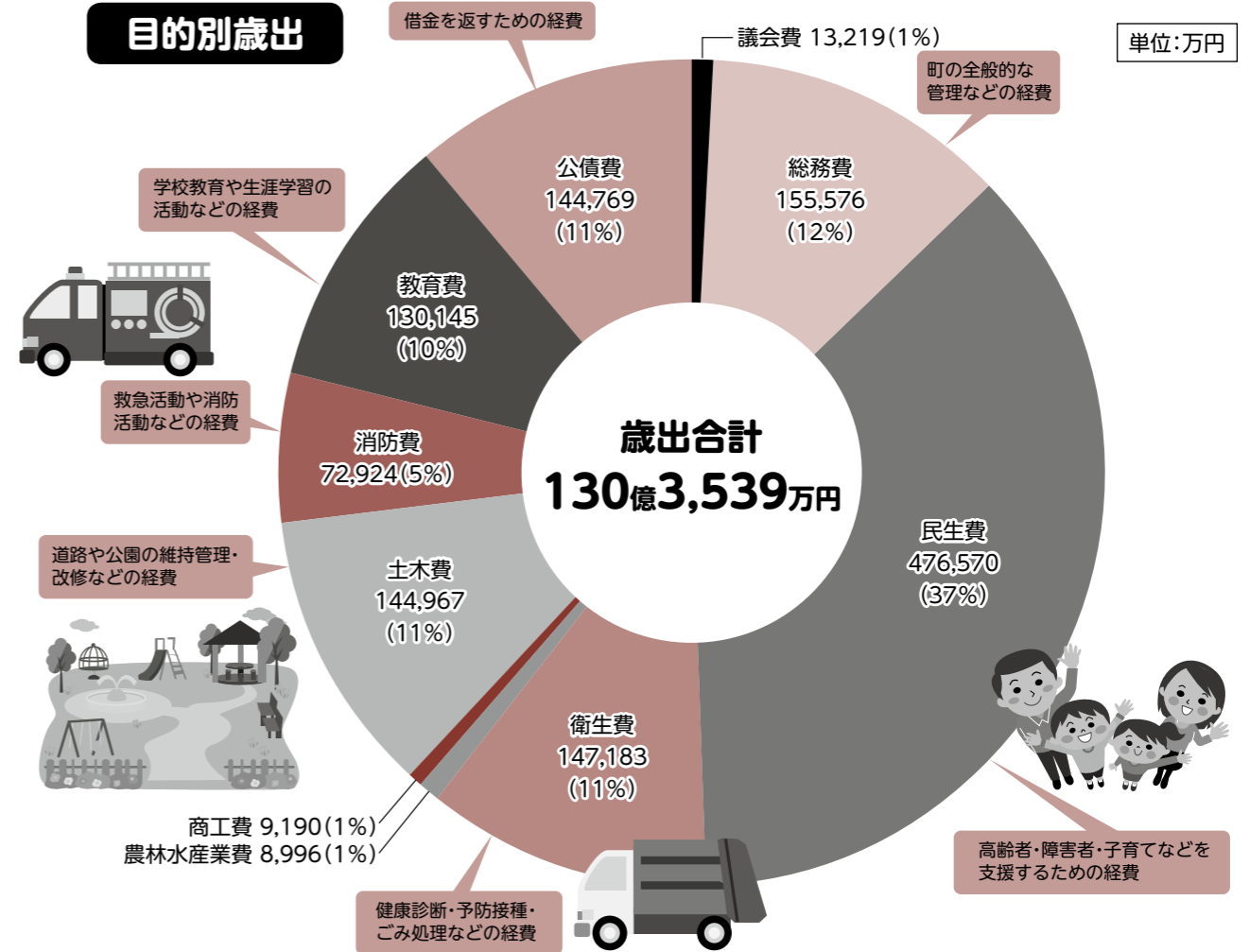
詳しく見てみよう ~歳出編~



まずは、歳出決算について中身を詳しく見てみましょう。
 お金の使い道として、「何のために使ったか」を**目的別**、「どのようなお金の使われ方をしたか」を**性質別**という分け方をしています。例えば学校の光熱水費は、目的別では教育費ですが、性質別では物件費になります。同じ経費でも違う見方をする事で、違った角度からお金の使い道を分析することができます。

目的別歳出

単位:万円



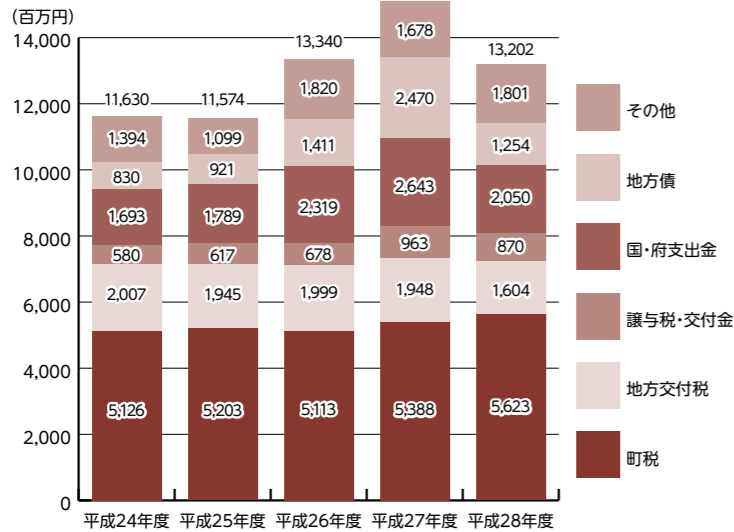
<主な内容>

- 総務費: 中自治会集会所を建替えるための実施設計業務や地域創生に関する事業など。
- 民生費: 高齢者・障害者福祉サービスや保育所・放課後児童クラブの運営など。
- 衛生費: 新クリーンセンター建設のための負担金やごみ収集処理など。
- 土木費: 道路の改修工事や狛田駅東地区の周辺整備など。
- 消防費: 消防庁舎訓練棟の建設や、防災行政無線の実施設計など。
- 教育費: 小中学校のエアコン設置に向けた実施設計などの学校環境整備や図書館運営など。

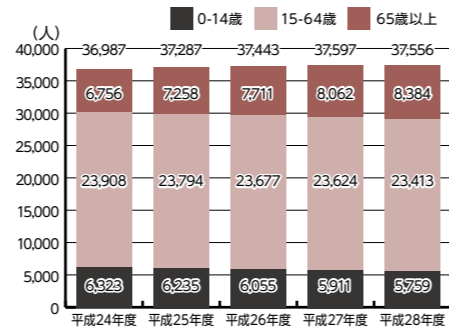
決算について経年比較で見てみよう

精華町の決算額は過去5年間を見ると平成25年度までは110億円程度で推移していましたが、平成28年度は、防災行政無線や小中学校の空調の設計、かしのき苑の耐震化工事などにより、130億円超えの決算規模となりました。

一般会計 歳入

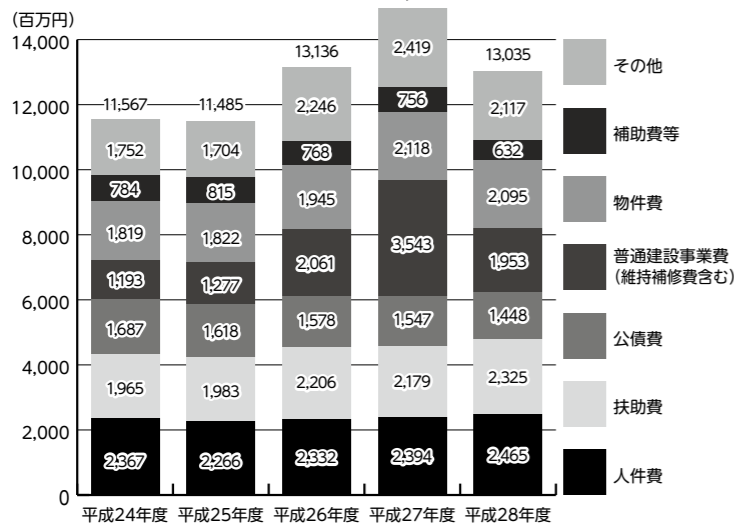


年齢別人口推移(各年1月1日現在)



町の自主財源の軸である町税収入を、経年推移で見ると増加傾向にあり、平成28年度は前年度より4%増加しました。しかし、その反作用として平成28年度の地方交付税は前年度より18%減少したため、町の一般財源総額での増加には直結していない状況です。今後も持続可能な財政基盤の確立が必要とされます。

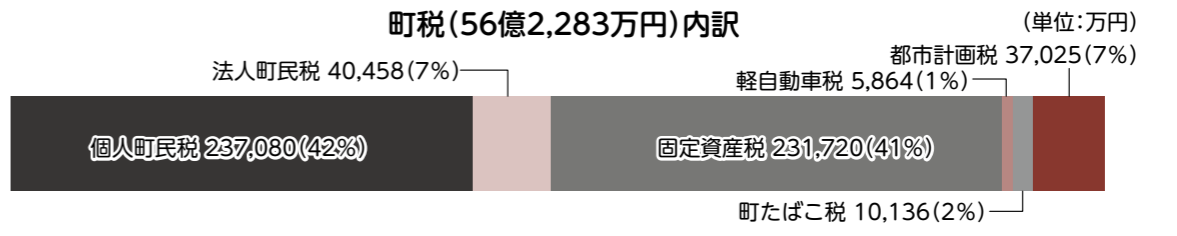
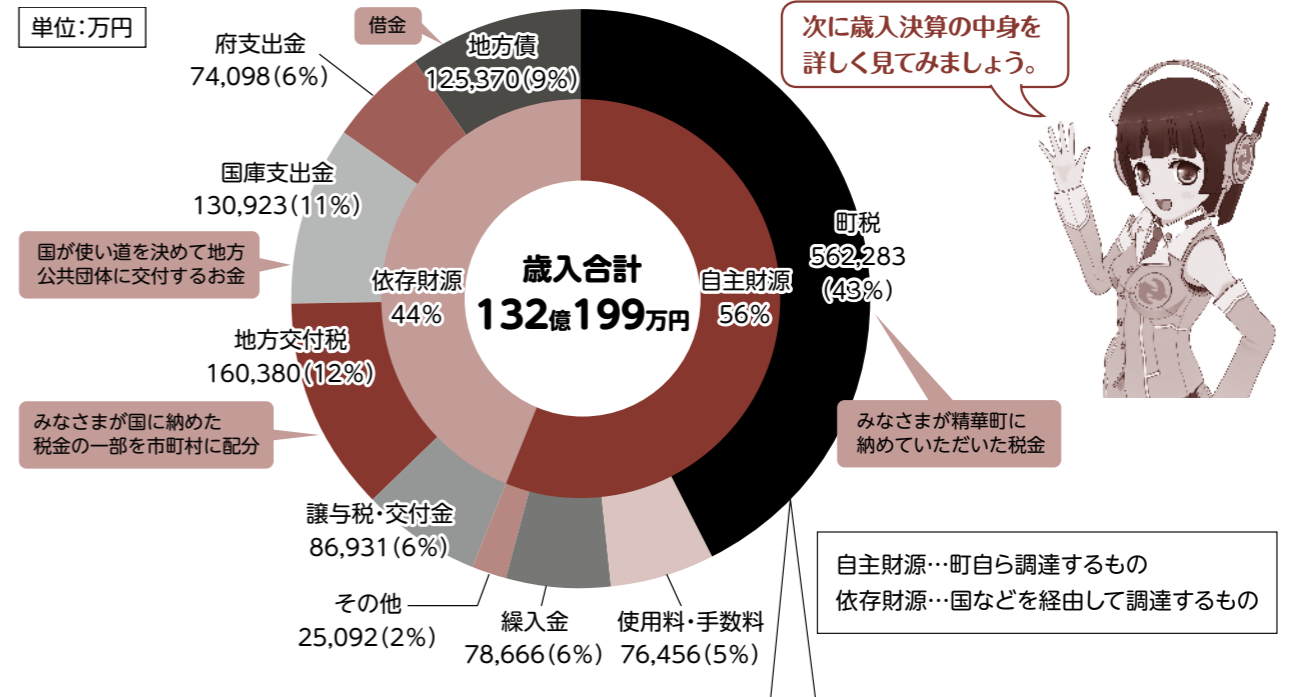
一般会計 歳出



扶助費は少子高齢化による人口構成の変化とともに年々増加傾向です。また、普通建設事業費は、近年課題となっている公共施設等の維持更新などを重点的に実施したため、平成26年度以降は特に決算額が大きくなっています。

ところで・・・
ここまでは精華町の「一般会計」の決算について説明してきました。一般会計とは町民の暮らしやまちづくりに必要となる基本的な行政サービスを行うための会計です。一方、地方公共団体にはこの他に「特別会計」という会計もあります。次のページからはこの「特別会計」について詳しく見ていきましょう。

詳しく見てみよう～歳入編～



- ### < 主な内容 >
- 町税には、精華町にお住まいのみなさまが納める個人町民税、精華町内に事業所のある法人が納める法人町民税、精華町に土地や家を持つ方が納める固定資産税などがあります。
 - 国庫支出金や地方債については、道路整備や建物工事などの経費に対する財源として入ってきているものが多くを占めています。
 - 緑入金は、主に貯金からの取崩しで、財源調整のために2億4,690万円、特定の目的の事業のために5億3,976円を取り崩しています。

都市計画税はこんな事業に使われています

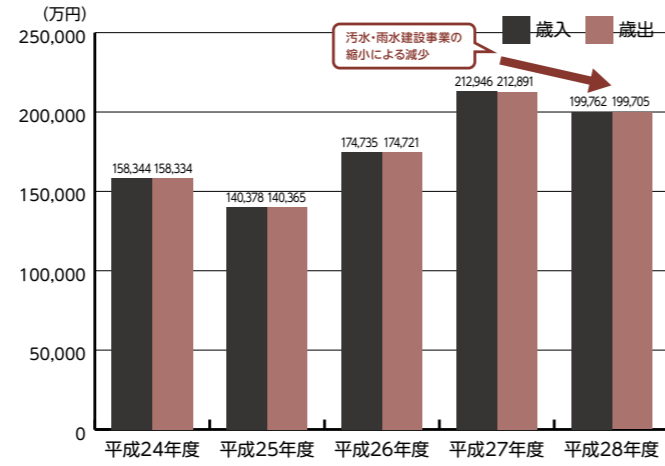
都市計画税は、都市計画事業または土地区画整理事業を行う市町村が、その事業に要する費用(その事業のために発行した地方債の償還金を含む)に充てるため、目的税として課税されるものです。都市計画税が充てられる主な事業は、都市計画道路などの交通施設や、公園、広場などの公共空地、下水道などの整備です。

区分	金額	左記の財源内訳				
		都市計画税	国・府支出金	地方債	その他	基金繰入金
都市計画事業費						
● 狛田駅東特定土地区画整理事業	4,727	1,073	2,114	1,540	0	0
● 都市計画事業充当地方債償還金	20,903	19,228	0	0	0	1,675
● 公共下水道事業(一般会計からの繰入金)	74,075	16,724	0	0	0	57,351
合計	99,705	37,025	2,114	1,540	0	1,675

公共下水道事業特別会計

地方財政法に基づく公営企業として設置している特別会計で、公共下水道としての汚水の処理や雨水の排水施設の整備と管理などの運営にかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

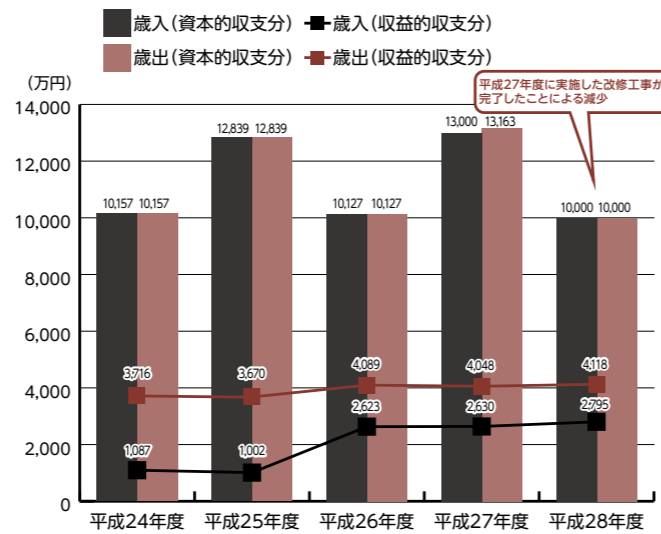
平成28年度決算では、歳入が19億9,762万円、歳出が19億9,705万円で、前年度と比較すると歳入歳出ともに減少しました。前年度と比較して汚水建設事業では、工事範囲を縮小したことや、雨水建設事業では、九石石川2号雨水路整備事業に必要な用地取得・補償が完了したことによる事業費の減少などによるものです。



国民健康保険病院事業特別会計

地方公営企業法に基づく公営企業として設置している特別会計で、精華町国民健康保険病院の運営にかかる収支を、企業会計方式で経理しています。ただし、指定管理者が病院運営の収支を直接経理しているため、町の経理は管理経費の分だけです。

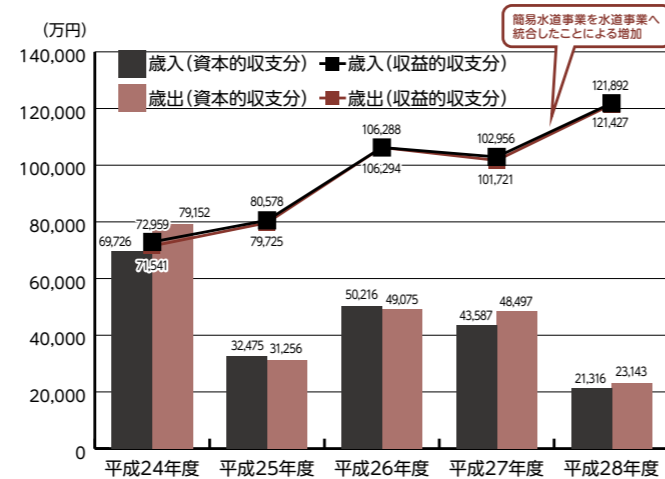
平成28年度決算では、収益的収支の差し引きは1,323万円の純損失です。



水道事業特別会計

地方公営企業法に基づく公営企業として設置している特別会計で、水道の給水にかかる施設整備や管理などの運営にかかる収支を、企業会計方式で経理しています。

平成28年度税込決算では、収益的収支の差し引きは465万円の黒字で、資本的収支の差し引きは1,827万円の赤字となりました。なお、収益的収支については、簡易水道事業を水道事業に統合したことにより、非現金性の収入・支出が増加しました。



特別会計とは、特定の目的のための会計で、収支を明確にするため一般会計とは分けて、その収入・支出を経理しているものです。精華町には6つの特別会計があります。それでは各特別会計の決算状況を見ていきましょう。

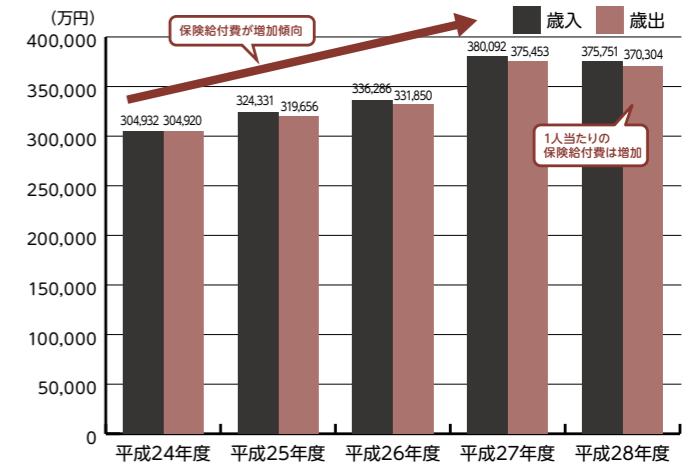


※各会計ごとに会計規模が違うため、グラフの目盛りはそれぞれ異なります。

国民健康保険事業特別会計

国民健康保険法に基づく特別会計で、精華町を保険者とする国民健康保険の運営(被保険者に対する国民健康保険料の収納や保険給付費など)にかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

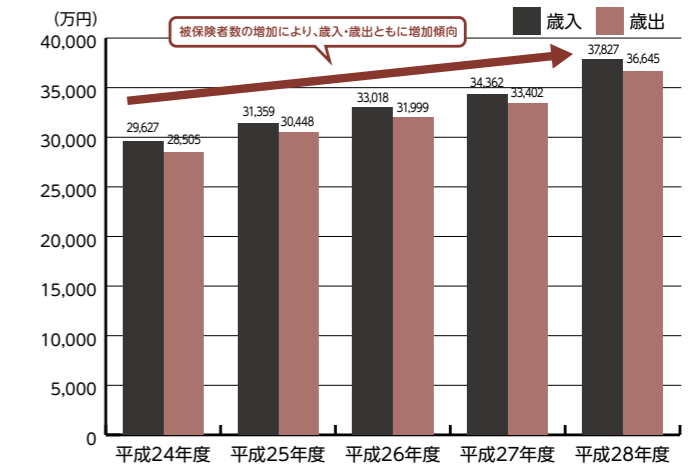
平成28年度の実質単年度収支は黒字となりましたが、1人当たりの費用額の増加が続いている現状で、今後も厳しい状況が続く見通しです。



後期高齢者医療特別会計

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特別会計で、京都府後期高齢者医療広域連合を保険者とする後期高齢者医療制度の被保険者に対する保険料を徴収し広域連合へ納付する費用などにかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

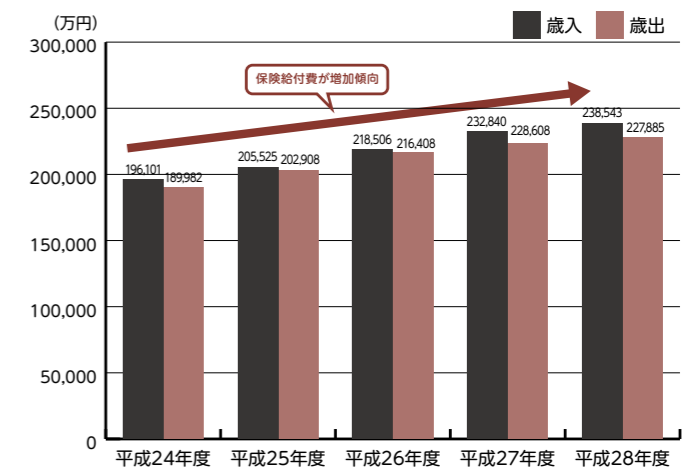
平成28年度決算の歳入歳出差引の黒字は、大部分が保険料納付金で、翌年度に京都府後期高齢者医療広域連合へ納付します。



介護保険事業特別会計

介護保険法に基づく特別会計で、精華町を保険者とする介護保険の運営(被保険者に対する保険料の収納や介護給付費など)にかかる収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

平成28年度決算は、歳入が23億8,543万円、歳出が22億7,885万円となり、特に歳出について、総額については前年度より減少しているものの、保険給付に係る費用については、増加傾向にあります。



● 3節 ● まちなみ

市街地形成

狛田駅東特定土地区画整理事業(線越分含む)	4,727万円
菅井西・植田南整備事業(線越分含む)	2,109万円



狛田駅前広場

● 4節 ● 道路・公共交通

道路

道路維持管理事業	1億 1,325万円
道路改良事業(線越分含む)	1億 5,241万円
道路照明LED化整備事業	1,009万円

光台地区道路照明灯90灯をLEDに取替えました。

公共交通

コミュニティバス実証運行事業	3,019万円
----------------	---------



菅井・菱田線

● 5節 ● 住環境

上水道

水道事業への負担金	850万円
-----------	-------

下水道

公共下水道事業への繰出金	7億 4,075万円
--------------	------------

住宅

建築物耐震改修促進事業(線越分含む)	435万円
--------------------	-------

木造住宅耐震診断実施件数：15戸
木造住宅耐震改修実施件数：2戸

2章 安全・安心して健やかな暮らしのまちづくり

● 1節 ● 健康・医療

健康づくり

健康づくり推進事業	438万円
乳幼児健康診査等母子保健事業	3,410万円
健康増進法に基づく各種保健事業	4,636万円

地域医療・生活衛生

国民健康保険病院事業への繰出金	995万円
相楽休日応急診療所負担金事業	412万円

医療・保険

国民健康保険事業への繰出金	2億 2,184万円
後期高齢者医療制度への負担金	3億 2,222万円



食育の日啓発活動

● 2節 ● 児童福祉

子育て環境

保育所運営委託事業	3億 6,504万円
放課後児童クラブ運営事業	1億 911万円

ひかりだい保育所・せいかにだい保育所での保育サービスの提供

子育て支援

児童虐待防止対策事業	1,034万円
子育て支援センター運営事業	281万円

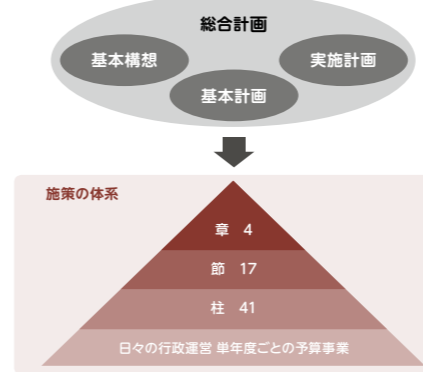


多文化子育てひろば

精華町では、まちの中長期的な将来像とその実現に向けた方針を「総合計画」としてまとめている、この計画に基づいてしごとを進めています。ここからは、「総合計画」に沿って、平成28年度に実施した主なまちのしごとを見ていきましょう。



精華町第5次総合計画イメージ図



総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つの要素で構成されています。基本計画では基本構想の実現に向けた施策ごとの展開方向を示しています。施策の体系は、最上位に4つの「章」を据え、その下に17の「節」、さらにその下位の41の「柱」により構成されています。

1章 活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり

● 1節 ● けいはんな学研都市

学研都市の推進

学研都市建設推進・活性化事業	429万円
せいか祭り開催負担金	700万円

ツアー・オブ・ジャパンでは、約5万人の観客動員がありました。

企業誘致

企業誘致促進事業	4,727万円
----------	---------

SEIKA サブカルフェスタなどのイベントを同時開催、約34,000人が来場されました。

地域創生

京都アカデミック産業創造事業	200万円
サブカルチャーを軸にした観光振興・地域創生事業	3,550万円
ツアー・オブ・ジャパンから始まる自転車を活用した地域づくり事業	597万円
けいはんな学研都市の都市ブランド醸成による定住促進事業(線越事業)	1,250万円
相楽圏域におけるインバウンド観光事業(線越事業)	100万円

台湾における訪日観光PRイベント「台感!日本。」へのブース出展等PR活動

今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業	1,609万円
お茶の京都 DMO 地域活性化推進事業(線越事業)	1,015万円



ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ



SEIKA サブカルフェスタ



完成した洛いも焼酎

● 2節 ● 産業

農業

地域担い手育成総合支援事業	700万円
特産品開発推進支援事業	251万円

商工・サービス業

商工会助成事業	1,077万円
中小企業融資事業	778万円

観光

観光推進費	220万円
-------	-------



スイーツタウンをPRするラッピングバス

● 3節 ● 人権尊重と男女共同参画

人権	
人権センター交流会館耐震改修事業(繰越事業)	2,633万円
男女共同参画	
男女共同参画社会推進事業	381万円
国際交流・平和	
国際交流推進事業	510万円



国際理解フェスティバル

● 4節 ● 環境共生

資源・エネルギー	
新クリーンセンター建設負担金 (繰越分含む)	7億 1,347万円



工事が進む新クリーンセンター

● 5節 ● 情報化

地域情報化	
情報通信基盤管理運営事業	3,512万円
図書館	
図書館運営費	貸出点数は町民1人当たり10.7冊でした。 3,321万円
図書等購入事業	図書4,551冊購入しました。 1,113万円

4章 自立を目指した協働のまちづくり

● 1節 ● 住民協働

公共的活動支援	
公共的活動推進事業	ワークショップやフィールドワークなど全5回実施しました。 20万円
コミュニティ助成事業	東畑・植田自治会の活動備品の整備を行いました。 500万円



せいかまちづくり塾での活動

● 2節 ● 行財政運営

行政経営	
庁舎維持管理事業	7,989万円
庁舎長寿命化利活用検討事業	389万円
新地方公会計制度対応事業	2,810万円
窓口サービス	
コンビニ交付事業	840万円

なが——い、おつきあい。

貯める 借り入れる 運用する
備える 積み立てる 管理する

京都銀行はさまざまなシーンで皆様を応援します。

飾らない銀行 精華町支店
京都銀行 TEL.0774(93)2300

JA京都やましろ 精華町支店
便利で安心! JAバンク

精華町祝園駅西1丁目3 1-5
TEL 0774-94-2103
FAX 0774-94-5739

● 3節 ● 高齢・障害福祉

高齢福祉	
精華町敬老会	参加者約650人でした。 591万円
高齢者居宅生活支援事業	785万円
介護保険事業への繰出金	3億 4,567万円
障害福祉	
自立支援給付事業	6億 9,260万円
地域生活支援事業	5,598万円



敬老会

● 4節 ● コミュニティー・地域福祉

コミュニティ	
集会所建設事業	中集会所の建替実施設計、旧山田集会所の解体工事を行いました。 1,079万円
地域福祉	
地域福祉センター長寿化事業	かしのき苑ふれあい大ホールの耐震化を行いました。 1億 2,606万円
年金生活者等支援臨時福祉給付金(繰越分含む)	8,892万円



かしのき苑ふれあい大ホール

● 5節 ● 防災・交通安全

地域防災・消防	
消防庁舎建替事業	消防庁舎訓練棟が完成しました。 2億 1,853万円
防災行政無線整備事業	防災行政無線の整備に向けた実施設計を行いました。 400万円
浸水対策	
排水路整備事業	194万円
交通安全・防犯	
交通安全灯LED化整備事業	交通安全灯874灯をLEDに取替えました。 1,901万円



消防庁舎訓練棟

3章 未来をひらく文化と環境のまちづくり

● 1節 ● 学校教育

教育振興	
学級支援員配置事業	2,364万円
多子世帯生活支援事業(幼稚園分)	274万円
科学のまちの子どもたちプロジェクト	444万円
教育環境	
教育環境整備事業(小中学校)	空調設置に向けた実施設計を行いました。 1,148万円



けいはんなロボット教室

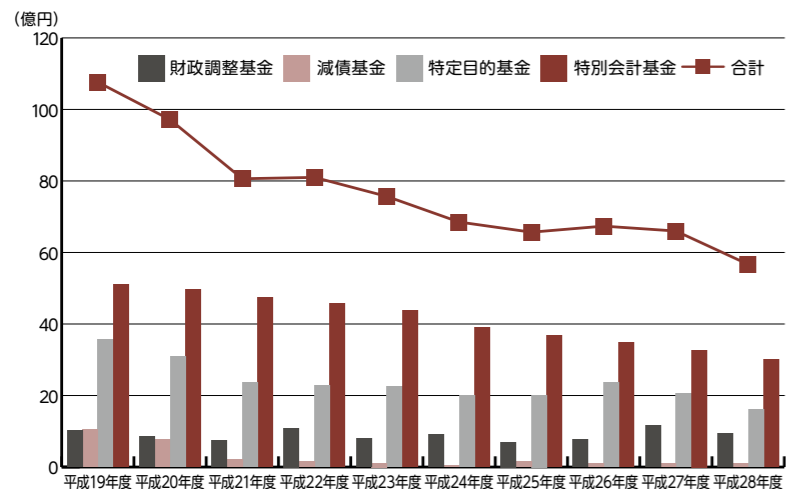
● 2節 ● 生涯学習

歴史	
文化財保護事業	601万円
文化活動	
成人式	参加者約364人でした。 150万円
子ども祭り事業	参加者約1,500人でした。 100万円
スポーツ活動	
生涯スポーツ振興事業	打越台テニスコートの改修を行いました。 644万円
体育施設等運営事業	7,591万円



成人式

基金(貯金)について

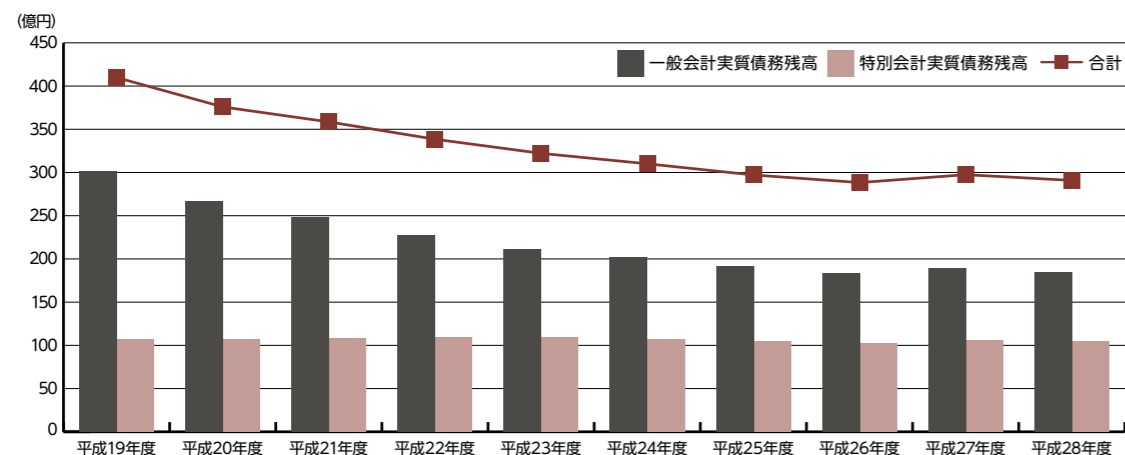


- 財政調整基金**
年度間の財源不足に対応するための貯金です。
- 減債基金**
地方公共団体が借りたお金(借金)を返すために必要な資金を積み立てるための貯金です。
- 特定目的基金**
特定の目的を計画的に実施するために必要な資金を積み立てるための貯金です。精華町には学校建設基金、グリーンセンター建設基金などがあります。

※特別会計基金…特別会計で保有する基金残高(国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、水道事業会計)。

一般会計の基金残高について、平成28年度は総額26億円となっています。その内訳は、財政調整基金が9億円、減債基金1億円、特定目的基金16億円です。前年度と比較すると総額で20%の減少となりました。これは、基金への積立てより取崩しを多く行っているためです。現在の基金残高は決して十分とは言えないことから、基金残高の確保に努め、安定的な財政基盤の確立が必要となっています。

債務(借金)について



平成28年度末での町全体の地方債は259億円です。また、地方債のほかに将来の支払いを約束した債務負担行為の残高が30億円、これらを合わせた町全体の実質債務残高は、289億円となり、前年度と比較して減少しました。将来世代へ過度な負担を残さないようにするため、今後も計画的な債務減少に努めます。

実質債務残高とは…「地方債残高」と「翌年度以降支出予定債務負担行為残高」の合計額です。地方債残高は、銀行などから借りた借金の残高です。債務負担行為残高は、複数年にわたる契約などによって将来の支払いを約束しているお金のことです。借金をしているわけではないものの、翌年度以降に支払いが発生することは借金と変わりませんので、この二つの合計が実質的な債務ということになります。

精華町内には、祝園弾薬庫が所在するため、防衛省から補助金が交付されています。平成28年度はこの補助金を活用して下記の事業を実施しました。

特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して実施しました

事業内容	交付対象経費【交付金】
防犯パトロール車購入	96万円【50万円】
中集会所新築工事(実施設計)	337万円【336万円】
交通安全灯のLED化	1,884万円【1,700万円】
道路照明のLED化	1,009万円【720万円】
防火広報車購入	310万円【100万円】
滝ノ鼻地区排水路整備測量・設計委託	194万円【150万円】
東光小学校パソコン購入	430万円【400万円】
図書館司書配置	199万円【150万円】
スクールカウンセラー配置	256万円【200万円】
山田荘・東光小学校給食室大型備品購入	593万円【350万円】
いけたに・こまだ保育所給食室大型備品購入	454万円【200万円】
打越台テニスコートの整備	998万円【300万円】
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金への積立て	1,358万円【1,358万円】



防火広報車



山田荘小学校給食室大型備品



打越台テニスコート

防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用して実施しました

防災行政無線の詳細設計	400万円【298万円】
救急車購入	3,649万円【1,575万円】



救急車

一緒にうれしい
On Your Side
みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫があります。
◎ **京都中央信用金庫**
精華支店
JR祝園駅西300m
☎ 0774(93)1321
FAX 0774(93)1124

ナント・なら・ずっと!
NANTO 南都銀行
精華支店
☎0774(94)2580

統一的な基準による財務書類について

前ページまで説明してきた地方自治体の一般会計、特別会計は、現金主義・単式簿記であって、その年の収入と支出をわかりやすく表しています。しかし、地方公共団体が今まで整備してきた公共施設などの資産や、これまでの借金などの負債がどれだけあるのか、どこに多くの経費がかかっているのかなどの情報は見えにくくなっています。

そこで、地方公会計制度では、企業会計と同様に発生主義・複式簿記を導入し、保有している資産・負債(ストック)の状況、行政サービスを提供するためにかかった費用(コスト)などをわかりやすい表で示すことで、今まで見えにくかった情報を把握することができます。

本町ではこの財務書類について、これまで「総務省方式改訂モデル」という手法を採用してきましたが、総務省から新たに「統一的な基準」が示されたため、平成28年度決算から作成手法を「統一的な基準」に移行して財務書類を作成しました。

※財務書類の詳細は、精華町ホームページに掲載します。

現金主義会計

現金の収支に着目した会計処理(官庁会計)。現行の予算・決算制度は現金主義会計を採用。

精華町
歳入歳出決算書

発生主義会計

経済事象の発生に着目した会計処理。ストック情報・フロー情報を総体的・一覽的に把握することにより、現金主義会計を補完。

【財務書類】

<地方公会計>

- ・貸借対照表
- ・行政コスト計算書
- ・純資産変動計算書
- ・資金収支計算書

<企業会計>

- ・貸借対照表
- ・損益計算書
- ・株主資本等変動計算書
- ・キャッシュ・フロー計算書

補完

財務書類

貸借対照表

基準日時点における精華町の財政状態(資産・負債・純資産の残高及び内訳)を一覽で表示したものです。

行政コスト計算書

一会計期間中の精華町の費用・収益の取引高を表示したもので、現金収支を伴わない減価償却費なども費用として計上します。

純資産変動計算書

貸借対照表に計上されている純資産が一会計期間中にどのように変動したかを表示したものです。

資金収支計算書

一会計期間中の現金の受払いを3つの区分で表示したものです。

各種指標でみる財政状況

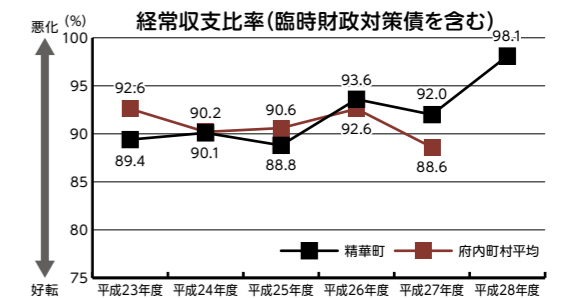
精華町の財政状況をより詳しく見ていくために、主な3つの財政指標を確認してみましょう。



経常収支比率 98.1%

経常収支比率は、財政の硬直性を示す指標です。自由に使えるお金がどれくらいあるかを示す指標で、財政のゆとりを見ることができます。家計に例えると、衣食住など生活するうえでなくてはならない出費が、収入に対してどれくらいの割合を持つかを示す指標になります。

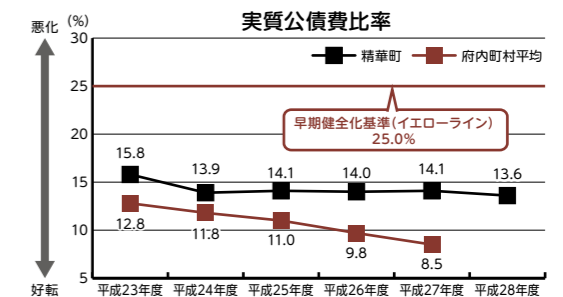
平成28年度は98.1%と非常に高い数字です。例年90%前後で高い状態で推移し、財源を活用できる自由度が低くなっています。



実質公債費比率 13.6%

実質公債費比率とは、地方債の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。家計に例えると、年収に対し、借金返済額がいくらあるかという割合をみるものです。

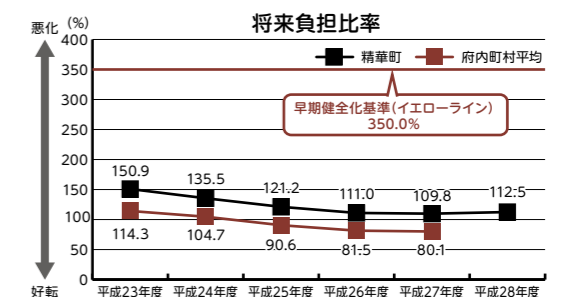
平成28年度の実質公債費比率は、13.6%となり、前年度からは微減しましたが、例年、府内町村平均より高い水準が続いています。



将来負担比率 112.5%

将来負担比率とは、一般会計等の地方債や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。家計に例えると、年収に対し、現状確定している将来支払うべきローンなどがいくらあるかという割合をみるものです。

平成28年度の将来負担比率は112.5%と前年度と比較して、2.7ポイント悪化しました。例年、府内町村平均を上回っており、引き続き債務残高の圧縮に努める必要があります。



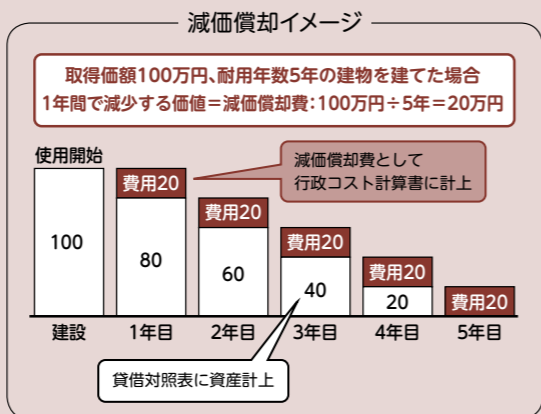
解説

●貸借対照表

資産の部には精華町が保有する資産が計上されています。
負債の部に計上されている退職手当引当金は年度末に全職員が普通退職した場合の退職手当支給見込額です。
また、賞与等引当金は、翌年度に支払うことが予定される期末勤労手当のうち、当年度の負担相当額です。
発生主義の考え方では、これら歳入歳出決算書では見えない資産・負債についても把握できます。

●行政コスト計算書

現金主義会計では、現金の出入りしか記録しませんので、例えば、建物を建てた場合、工事費を支払った年度のみ、支出が記録されます。これに対し、発生主義会計では、工事費を支払った年度に全額を費用計上するのではなく、取得した建物の耐用年数にわたって各年度に費用を配分します。(右図参照)



賞与等引当金を貸借対照表に計上する際には、現金の支出はありませんが、当年度に発生した費用を認識して、引当金繰入額として、費用計上します。
発生主義の考え方では、これら現金の支出を伴わないコスト情報を明らかにできます。

●純資産変動計算書

行政コスト計算書における使用料・手数料等の経常収益で賄いきれなかった純行政コストがどのように賄われるかを見ることができます。
本年度末の純資産変動額は、9億9,800万円のマイナスとなり、これは、過去から蓄積された資産(純資産)を取り崩しているということになります。

●資金収支計算書

資金収支計算書は、現金主義による官庁会計の現金収支を3つの活動区分(右ページ 資金収支計算書(A),(B),(C))に分けて表したものです。
(A) 業務活動収支では、日常的な行政サービスに対するお金の出入りが、(B) 投資活動収支では、道路、学校などの工事や基金の積立て・取崩しにかかったお金の出入りが、(C) 財務活動収支では、地方債の返済や借入のお金の出入りがわかります。

財務書類からわかる指標について

有形固定資産減価償却率… **50.4%**

$$\text{【有形固定資産減価償却率】} = \frac{\text{減価償却累計額}}{\text{有形固定資産(土地は除く)} + \text{減価償却累計額}} \times 100$$

地方公共団体の所有する資産の老朽化の進み具合を把握することができます。

精華町は、有形固定資産全体の減価償却率が50.4%で、すでに現在保有する建物や道路などの半分以上が帳簿上の価値を失っており、今後の更新時期に留意する必要があります。ただし、帳簿上の価値が失われても施設の使用ができなくなるわけではありません。

債務償還可能年数… **8.7年**

$$\text{【債務償還可能年数】} = \frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能基金}}{\text{業務収入} + \text{臨時財政対策債発行可能額} - \text{業務支出}}$$

実質的な債務を定期的に確保できる資金で返済した場合に、何年で返済できるかを表す指標で、債務返済能力を見ることができます。精華町は、8.7年で、債務償還可能年数が高い傾向であるため、債務返済能力は低い傾向であると考えられます。今後の債務残高の抑制に努めるとともに、債務を返済するための原資を定期的な業務活動からいかに確保するかが重要な視点となります。

平成28年度一般会計財務書類の概要

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
固定資産	84,966	固定負債	18,343
有形固定資産	82,875	地方債	14,104
事業用資産	35,560	退職手当引当金他	4,239
インフラ資産	47,145	流動負債	2,021
物品	170	1年内償還予定地方債	1,369
無形固定資産	385	賞与等引当金他	652
投資その他の資産	1,707	負債合計	20,364
基金	1,610	純資産の部	
その他	97	純資産合計	65,854
流動資産	1,252		
現金預金	191		
基金	1,033		
その他	28		
資産合計	86,218	負債及び純資産合計	86,218

資金収支計算書

自平成28年4月1日
至平成29年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
業務活動収支(A)	432
業務支出 (人件費・物件費・社会保障給付など)	10,472
業務収入 (税収・国府補助金・使用料及び手数料など)	10,904
投資活動収支(B)	76
投資活動支出 (公共施設等整備費・基金積立金など)	864
投資活動収入 (国府補助金・基金取崩・資産売却収入など)	940
財務活動収支(C)	△476
財務活動支出 (地方債償還支出など)	1,729
財務活動収入 (地方債発行収入など)	1,254
本年度資金収支額(A+B+C)①	32
前年度末資金残高②	159
本年度末資金残高(①+②)	191

行政コスト計算書

自平成28年4月1日
至平成29年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	12,118
業務費用	6,731
人件費	2,317
職員給与費	2,032
賞与等引当金繰入額	146
その他	139
物件費等	4,118
物件費	2,404
維持補修費	84
減価償却費	1,630
その他の業務費用	295
支払利息	253
徴収不能引当金繰入額	3
その他	39
移転費用	5,387
補助金等	2,189
社会保障給付	1,793
他会計への繰出金他	1,405
経常収益	854
使用料及び手数料	768
その他	86
純経常行政コスト	△11,264
臨時損失	1
臨時利益	12
純行政コスト	△11,253

純資産変動計算書

自平成28年4月1日
至平成29年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
前年度末純資産残高	66,852
純行政コスト(△)	△11,253
財源	10,219
税収等	8,131
国府等補助金	2,088
無償所管換等	36
本年度末純資産変動額	△998
本年度末純資産残高	65,854

※単位未満の四捨五入により、各数値の合計額等一致していない場合があります。

平成28年度『決算のあらまし(まちの家計簿)』の発行にあたって

今年も、『決算のあらまし』(平成28年度版)を発行することとなりました。おかげをもちまして、本誌は7年連続で早稲田大学パブリックサービス研究所主催のパブリックディスクロージャー表彰を受賞することができました。今後も町財政の現状をご理解いただくために、さらなる工夫を凝らした紙面づくりに取り組んでまいります。

さて、学研都市の建設促進法が施行されて、今年で30年となり、今、学研都市は新時代へ飛躍を遂げようとしています。地方創生の気運が高まる中、昨年から引き続いてのツアー・オブ・ジャパン京都ステージや、今年7月にけいはんなオープンイノベーション(KICK)で開催された日本遺産サミット in 京都などを機に、内外から精華町に訪れていただいた方と交流を図るとともに、精華町の魅力をPRすることができました。また、今年4月には、新たな特産品として洛いも焼酎「精華の夢」が商品化でき、お披露目が行われました。今後、大勢の方に親しまれ、町の名産となるよう願ってやみません。さらなる精華町の活性化を図り、未来に向かって挑戦することを目指してまいります。

一方、この間、町民の皆さまの尊い命を守るという一念から最優先課題であった義務教育施設の耐震化と合わせて進めてきた消防庁舎建替工事(訓練棟を含む)が完成し、長年の願いであった防災拠点の整備をようやく完了させることができました。これらの整備が完了した今、次の課題である、防災行政無線の整備や小中学校へのエアコン設置へ着手するなど、引き続き「命と希望を未来につなぐまちづくり」にまい進するのみでございます。

これからも、「人を育み未来をひらく学研都市精華町」の実現に向け、「ふるさとほ“ここ(精華町)”と誇れるまち」を築き上げられるよう、全力で取り組んでまいりますので、みなさまのご理解とご協力をよろしく願いたします。

平成29年10月

精華町長 木村 要

まちの家計簿 精華町の財政状況公表資料(決算篇)

- 発行 … 平成29年10月 精華町役場 総務部 財政課
- 住所 … 〒619-0285 (個別番号) 京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻70番地
- TEL … 0774-95-1914 (財政課ダイヤルイン)
- FAX … 0774-93-2233
- E-mail … zaisei@town.seika.lg.jp
- 印刷 … 関西美術印刷株式会社

◎決算のより詳しい内容については、下記ホームページで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.town.seika.kyoto.jp/>

HOME > 町政・まちづくり情報 > 行政情報 > 財務関係情報 > 決算